

助成受給団体	いわき市内郷防犯協会
事業の名称	ソーラーライトを活用した内郷を明るくする地域安全事業
実施期間	平成24年8月31日 ～ 平成25年3月31日
事業内容	<p>事業内容</p> <p>平成23年3月11日に発生した東日本大震災及び4月11日、12日に発生した余震の影響により、現在でも内郷地区内には被害を受けた建物等が取り壊されず放置されているものもあり、また道路等についてもひび割れや隆起等が補修されてない箇所もある。</p> <p>併せて、原子力発電所事故の影響により福島双葉郡等からの被災者がいわき市に避難しており、原子力発電所復旧作業員も市内宿泊施設に多数宿泊している。</p> <p>上記のとおり、地区内では道路等の損壊等や地区外の様々な方が流入していることにより、住宅地であっても夜間が暗い状況である。</p> <p>これらのことから、夜間の防犯の一助とするため、太陽電池式の庭灯を各世帯に配布し住宅等の屋外を明るくした。</p>
事業の成果	<p>事業の成果</p> <p>道沿いの暗かった箇所が設置した太陽電池式の庭灯に照らされ、不審者がいれば事前に分かる状況となった。</p> <p>今回設置した庭灯は、夕暮れ時等周辺が薄暗くなると点灯しはじめるため、塾帰りの子供や会社帰りの方等が安全に帰宅できるようになった。</p> <p>また、自宅玄関の目前に庭灯を設置した箇所は防犯だけでなく、自宅への出入りの際等、足元の段差、状況等が周辺が暗くとも把握できるようになり、転倒の心配が軽減され生活に対する安心感が増すことにもつながった。</p> <p>今回の地域安全事業にて、内郷地区の庭先等に庭灯を設置することにより、一つ一つの灯りは小さいものかもしれないが、皆の協力により地域を全体的に明るく安全なものにすることができたと思われる。</p>

